

### 8月17日(土)「おいしいようかん講座とシュガーロード(長崎街道)の旅」を開催しました(報告)

平成25年度の自主事業として、小学生とその保護者を対象とする体験学習講座「おいしいようかん講座とシュガーロード(長崎街道)の旅」を独立行政法人国立青少年教育振興機構との共催により開催しました。

この講座は、佐賀が誇るお菓子、ようかんを通じて佐賀の食文化を学び、「シュガーロード」と呼ばれる西洋文化を江戸に伝えた長崎街道を実際に歩きながら、お菓子と佐賀の関わりを紐解いていくとともに、机上だけでは学べない体験の意義を考えることを目的に実施しました。

当日は15組35名が参加し、佐賀マイスターであり、村岡総本舗 製造部主任の萩原隆文さんがようかん作りの実演と、取締役副社長の村岡由隆さんによる、ようかんに関する講座が行われました。ようかんの原料を実際に見たり、切りたてのようかんを包装したりしました。

そのあと、ようかんの原料となる砂糖が伝わった長崎街道を佐賀市の観光ボランティアガイドさんの案内で、先人たちの当時の暮らしぶりやどうやって物が運ばれていたのかなどの説明を聞きながら、まち歩きをしました。



材料や製造法の違う、ようかんを舌で比較♪



試食用のようかんがズラリ。



講師の村岡由隆さん(村岡総本舗)



棒寒天と糸寒天ではどちらの値段が高いでしょう？



ようかん作りの実演。講師は萩原隆文さん。



寒天をよく溶かして砂糖を入れます。



餡を入れて、とろみがつくまで練りあげます。

参加者もようかん作りの実演に興味しんしん。



ようかんができる工程を映像でも学びながら、材料や作り方が違うようかんを試食♪食べ比べてみます。



材料の豆の違いもじっくり見比べます。

気になったことはすかさずメモを取ります。



練り上げが完了し型に流し込みます。実際は一日寝かします。均等に切る萩原さんの手元にみんな釘付け。



切りたてのようかんを竹の皮の包装で、慎重に包みます。うまく包めるかな！？みんな必死です。



お母さんに手伝ってもらいながら、包装紙にくるみます。店頭で販売されているようなようかんの出来上がり！



幕末頃に鍋島藩の藩医が住んでいたという馬場家住宅。旧古賀銀行は明治18年に設立されました。



旧古賀銀行内。大正5年当時を復元してあります。行内には、長崎街道の大きな地図が掲げてあります。



当時の面影が残るシュガーロード(長崎街道)をてくてく。長崎街道沿いにある旧古賀家で掛け軸を鑑賞。



長崎街道沿いにある旧牛島家。脇道に入ると佐賀県木の大きな楠木が。今も変わらず見守っています。



旧古賀銀行と肥前通仙亭の間にかかる石橋。昔はこの川を船が行き来し、いろんな物資が行き交ったそう。



肥前通仙亭では、煎茶の祖 売茶翁について学びました。壁には、佐賀の銘菓とシュガーロードが！



参加してくれたメンバー(A班)旧古賀家前  
みなさん！猛暑の中、お疲れさまでした。

参加してくれたメンバー(B班)旧古賀銀行前



[↑このページの上へ](#)

**アバンセ** 佐賀県立男女共同参画センター  
佐賀県立生涯学習センター

[アクセス・交通機関のご案内](#)

[お問い合わせ/ご意見・ご要望](#)

**アバンセ**  
佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター

〒840-0815  
佐賀県佐賀市天神三丁目2-11(どんどんの森内)  
TEL:0952-26-0011 FAX:0952-25-5591

【指定管理者】公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団

Copyright (C) 2011 Avance All rights reserved

開館時間

火曜～土曜日：8時30分～22時00分  
日曜・祝日：8時30分～17時00分  
(ホールは22時00分まで)

休館日

毎週月曜日(祝日も含む)  
12月29日から翌年1月3日まで